

# 令和2年度

## 情報経営科 租税教室

7月13日（月） 1年生の「ビジネス基礎」の授業で  
税理士・弁護士の須藤雅人 先生 を招聘して「租税教室」が  
行われました

税の歴史や現行の税制 世界各国の事情 少子高齢社会に対応するための方  
策などについて 平易に解説していただきました

「暮らしの会費」に理解  
上山明新館高で租税教室



1億円のレプリカを持ち、重さを実感する  
生徒たち  
＝山形市・上山明新館高

上山市の上山明新館高（佐藤睦浩校長）で13日、租税教室が開かれ、情報経営科の1年生40人が税の役割や仕組みを学んだ。

同校が山形税務署などと連携して毎年実施してお

り、須藤会計事務所（山形市）の弁護士・税理士須藤雅人さんが講師を務めた。税金について「社会生活を

送る上での会費」と説明した上で、クイズ形式で税の歴史や種類、日本の税収などを解説。生徒たちは1億円のレプリカを持ち、お金の重さも体験した。

須藤さんは「税金をどう使うか、今後の社会の在り方は若い人たちの意見がどれだけ反映されるかで変わる。そのためには選挙に行くことが大切」と呼び掛けた。鈴木澤花さん（16）は「これまであまり税金に関心はなかったけど、大人になるにつれて関わりが出てくると分かった。授業を生かしてもっと税について理解を深めたい」と話していた。（長瀬亮）

授業の様子は 山形新聞でも紹介されました